

経営戦略において、市場を見極め、どの市場に向けて、戦略を展開するかというマーケティング戦略も重要事項です。

市場の調査を行い、市場規模や顧客のニーズを把握した後、マーケティングの目標を設定します。どの市場を攻略するのか、どのような商品を投入するのか、マーケティング戦略の要の部分です。

まず戦略の策定には、古典的ですが、外せないマッカーシーのマーケティング・モデルで分析、整理します。

マーケティングの4つのP

- Product 製品** : 作るもの
- Price 価格** : いくらで売るのが
- Place 販売チャンネル** : どこで誰に売るのが
- Promotion 販売プロモーション** : 販売促進として何を行うか

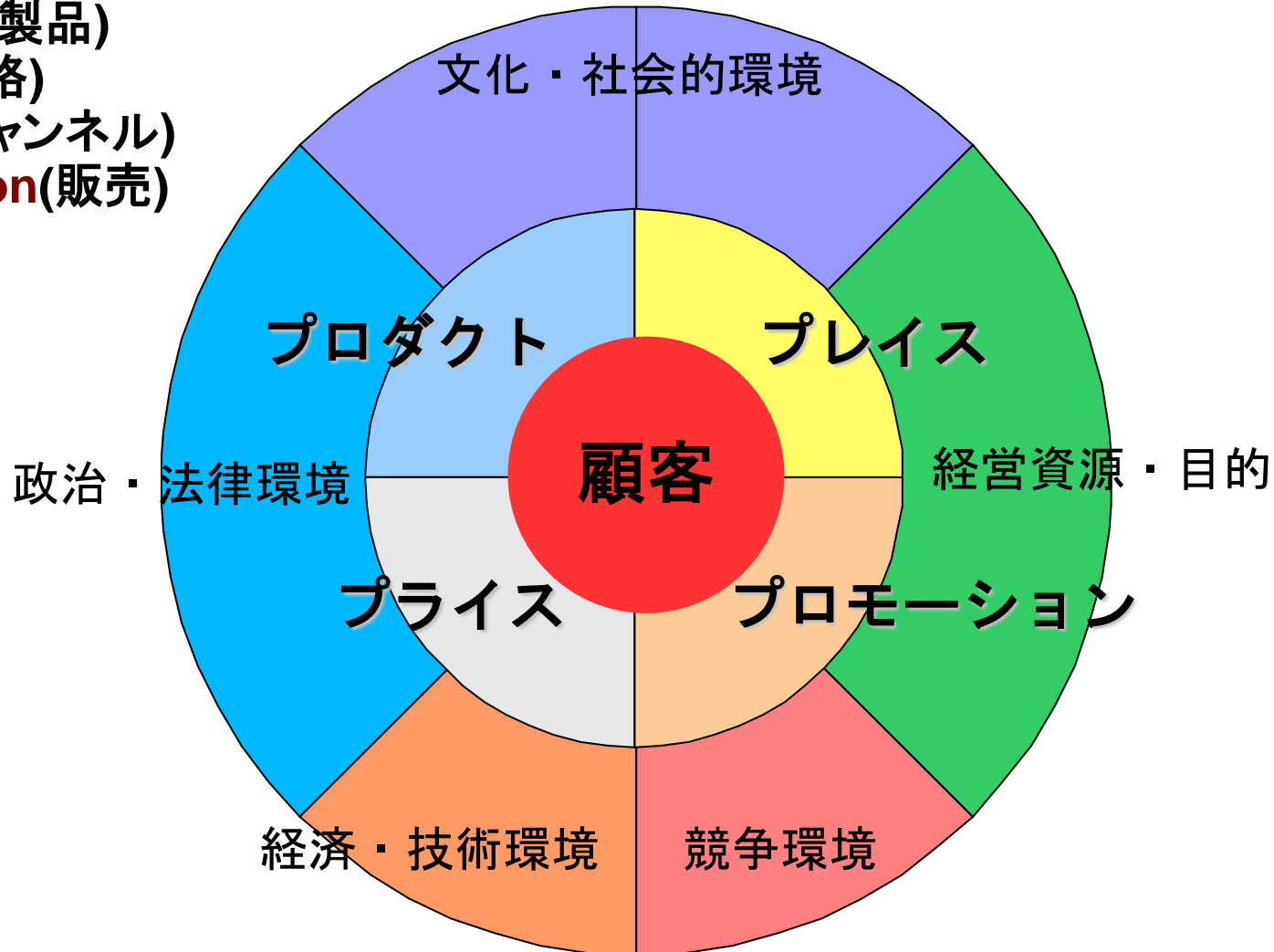
4つのP

Product(製品)

Price(価格)

Place(チャンネル)

Promotion(販売)



マーケティングにも、様々なマーケティング手法が存在します。

歴史的には、1950年代の**マス・マーケティング**、1970年代の**ターゲット・マーケティング**、1980年代の**ニッチ・マーケティング**といった流れできており、現在は、**リレーションシップ・マーケティング**です。

別名 One to Oneマーケティング。One to One(1:1)とは、1:自社と1:企業、または1:個人が相對します。

目的は、商品販売でなく、利益です。

販売でなく、顧客との関係作り、リレーションを構築します。多くの人に同じモノを売るのではなく、一人の人に多くのモノを買ってもらう。

例えば、シャネルのブランドがあります。顧客は、シャネル製品を買いあさるシャネラーとなります。ブランド戦略のひとつの戦略です。

ニーズでなく、ウォンツに対応した**リレーションシップ・マーケティング**をうまく実現できれば、利益向上につながり、ブランド力もアップします。

ブランドを決定づけるものは、何でしょうか。それは、ふたつ考えられます。

ブランドの決定要素

オンリーワンであること

ナンバーワンであること

このふたつが成立していなくては、ブランド足りえません。

例えば、マクドナルドといえば、ハンバーガー。ハンバーガーといえば、マクドナルド。

ある商品でナンバーワンになれば、ブランドが確立されます。

通常 of 企業で製造している商品も、市場におけるナンバーワンを目指しているのですが、現実には実現が難しい。

そこでオンリーワンを目指し、ナンバーワンになるプロセスをとります。

各企業もオンリーワンの商品を目指すことが重要です。

顧客が購入するのは、商品でなくブランドです。商品ブランドであれば、その商品の価値、個性を購入し、かつ企業ブランドであれば、信頼、品質を購入しています。

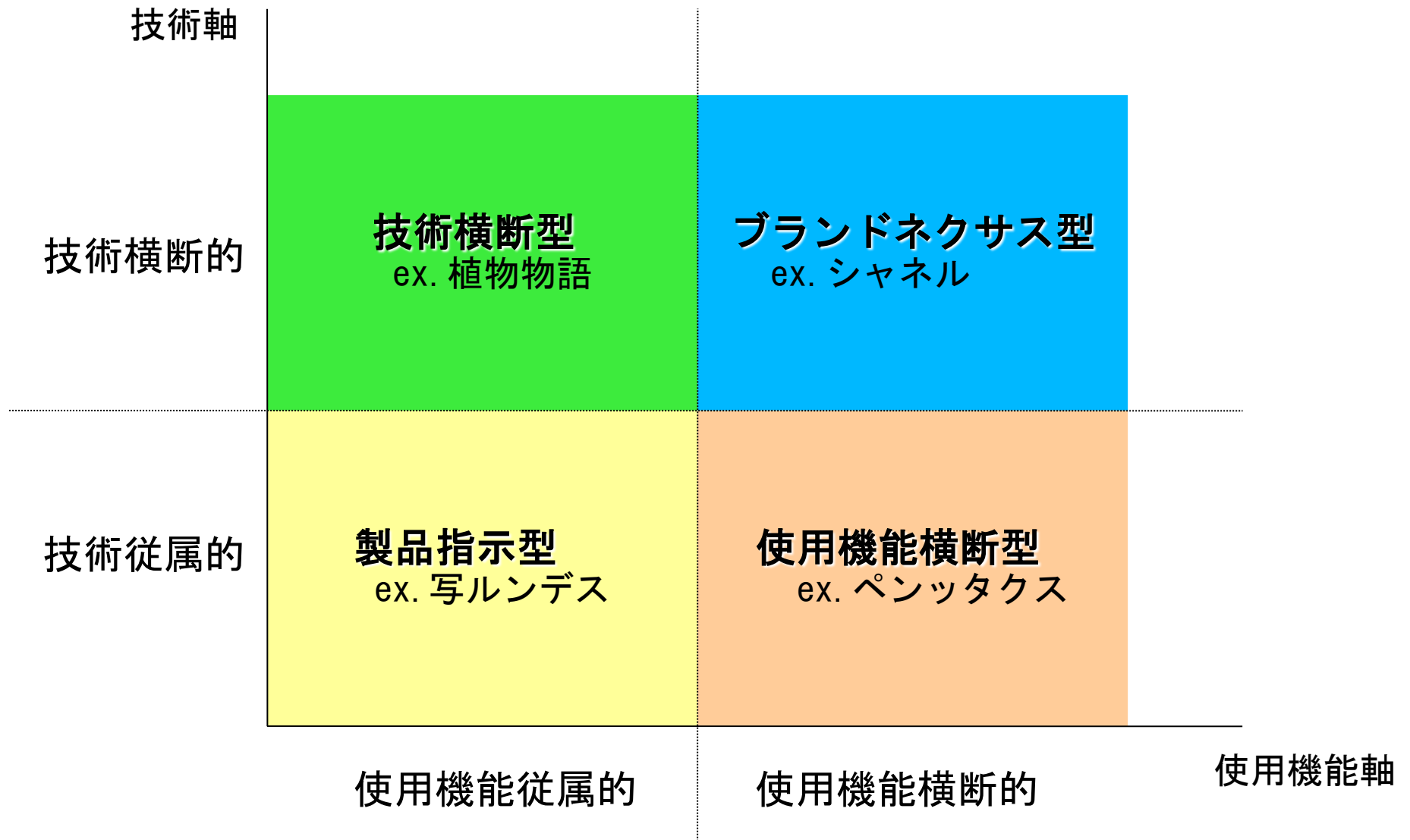
顧客にとってのブランド価値

1. 情報を知る 何か発見がある

2. 購買決定 確信を持って買える

3. 満足感がある 他のものとは違う

PlanDoassist ブランド 価値の創造(岩波新書より) #1



PlanDoassist ブランド 価値の創造(岩波新書より) #2

グリコ「ポッキー」は、なぜ成功したのか？

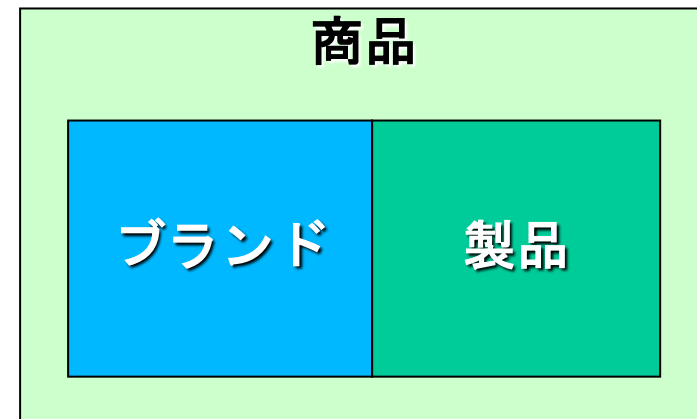
- ◆製品の中身の良さ
- ◆製品アイデアの独自性が高い
- ◆生産上のノウハウも多い
- ◆新しい消費者ニーズの発掘
- ◆新しい消費者層の開拓
- ◆多様なニーズをとりこむための商品バリエーション拡大



マーケティングの新機軸の打ち出し



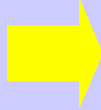
ブランドは、偶然には生まれない。
商品定義が重要。



ブランド戦略

商品コンセプト

概念



シンボル化された優位性

訴求の手段 **ブランド名 + 広告フレーズ**

たとえば、コカコーラならば、「スカッとさわやかコカコーラ」

PlanDoassist プラントウ・アシストの考えるブランド戦略 #2

ブランド戦略

商品コンセプト



オンリーワン



ナンバーワン

たとえば、「液晶ならば、シャープ」。「シャープならば、液晶」といったことです。**ナンバーワン**がブランドの強さを示します。

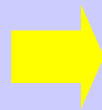
とにかく市場において、**ナンバーワン**になること、まずは細分化された市場でも構いません。

たとえば、先の例であれば、液晶全般でなく、携帯電話向けの小さなサイズの液晶という細分化された分野からスタートでもよいのです。

商品

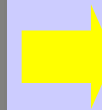
点

単一のヒット



線

ロードマップ



面

ラインナップ

ブランドの確立

マーケティングの4P + 顧客ロイヤリティ Customer Loyalty : 時間軸